

7月は

「青少年の被害・非行防止全国強調月間」

こども家庭庁は、学校が夏休みに入る7月を「青少年の被害・非行防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止活動に取り組んでいます。

少年の犯罪被害や非行の現状を知り、それを防ぐためになにをすべきかを考えてみましょう！



保護者の方へ

自画撮り
被害

インターネットには危険もいっぱい！

SNS を利用した
誘い出し

SNS で仲良くなった女友達と、写真のやりとりをしていたら…



下着姿の写真を送ったら実は相手はおじさんで、送った写真をもとに脅迫されてしまった…！



SNS に「家出したい」と書いたら、優しい人が「家に来なよ」と声を掛けてくれて…



遊びに行った家で複数の男性達に監禁され、性被害にあってしまった…！



NG

裸や裸に近い画像は絶対に送ってはいけません！ SNS 上では同年代や同性だと思ってあなたをだますための嘘かもしれません。

NG

例え、相手が優しい言葉で近づいてきても、SNS 等で知り合った人と安易に会うは危険です！



でも、今の時代、こども世代にもスマートフォンは普及しているし…こども達が安心安全にインターネットを使うにはどうしたらいいの？

フィルタリングの利用、コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能を積極的に活用しましょう！



＼被害児童の約9割がフィルタリング未使用！／

フィルタリングにはこどもの年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリ利用を個別に許可・制限できる機能もあります。有害情報からこどもを守るため、必ずフィルタリングの設定を行いましょう。



＼ペアレンタルコントロールの活用／

保護者がこどものライフサイクルを見通して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること（「ペアレンタルコントロール」）が大切です。こども家庭庁ではこどもが安全に安心してネットを利用できるように親子のルール作りやペアレンタルコントロール等が紹介されています。

●こども家庭庁ホームページ

ネットの危険からこどもを守るために
<https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kanjyou/>

ペアレンタル
コントロール
(制限)



オンラインカジノによる賭博は犯罪です！

海外の運営サイトでも日本から利用すれば犯罪

オンラインカジノサイトの多くは海外で運営されているとされていますが、日本国内からサイトにアクセスしてオンラインカジノで賭博を行うことは、「賭博罪」などの犯罪となります。

賭博をしなくてもオンラインカジノに関与すれば犯罪

日本国内でオンラインカジノの入金や出金といった決済に関与したり、広告・宣伝をしてオンラインカジノに誘い入れたりすると、「賭博帮助」などの犯罪となります。

オンラインカジノの利用は絶対にやめましょう！

